

一般社団法人エコ食品健研究会・東京都市大学伊坪研究室(宮本高明)

『3.11 炊き出しグランプリ』開催における 水の使用量の低減の取り組み

東京都市大学 伊坪 徳宏 准教授 × (社)エコ食品健研究会

対象商品紹介

3.11に被災された飲食店の皆様の自立支援、さらには有事の際に機動的な炊き出しができる技能の習得、さらにはネットワーク作りを目的に実施するチャリティーイベントです。収益は全額被災地の飲食店の支援に役立てられます。



算定範囲(バウンダリー)

来場者や炊き出し実施団体のメニューを仮決めした上で、イベントに関わる全ての活動や物資を対象としています。

算定根拠

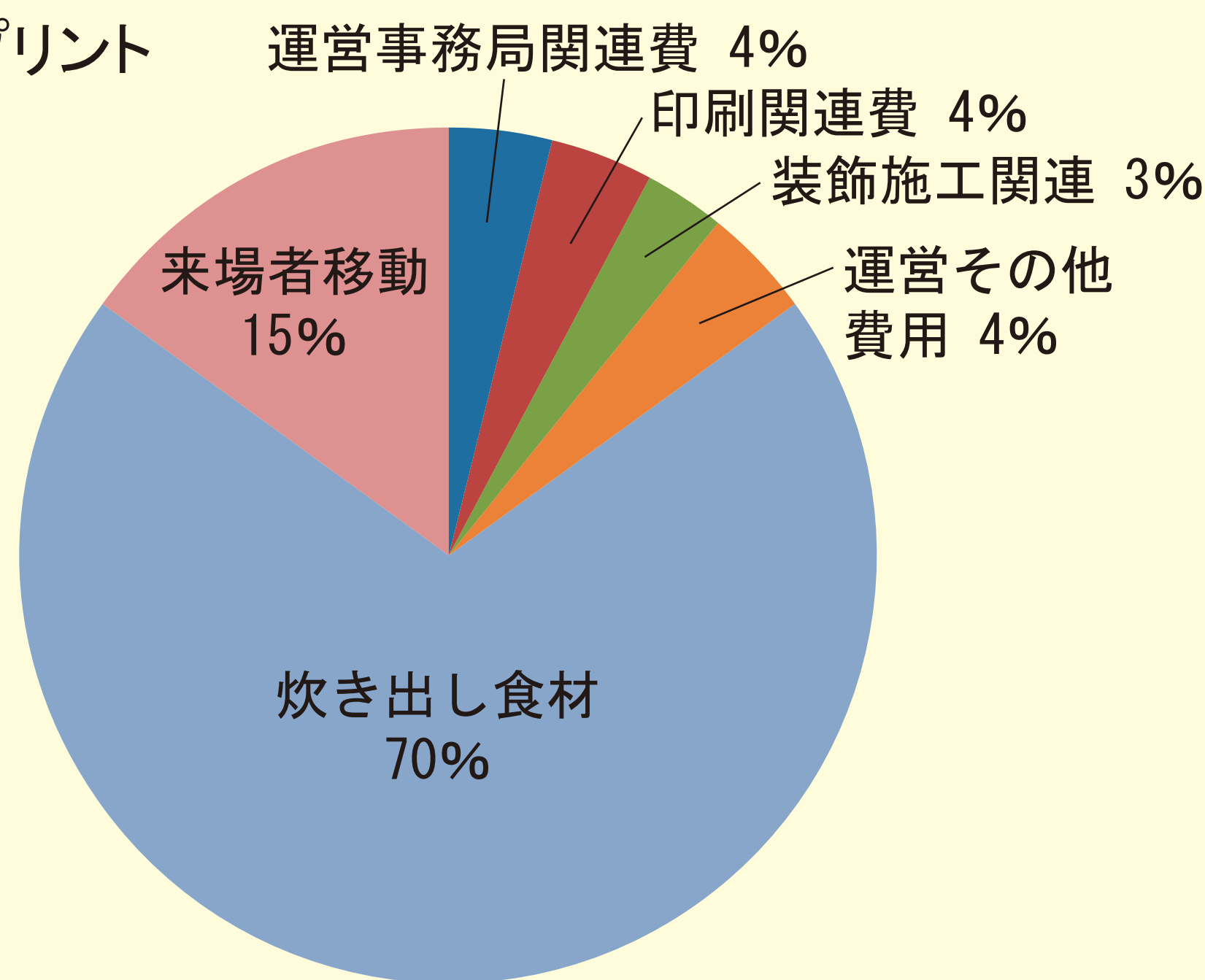
伊坪研究室 ウォーター・フットプリントデータベース

算定結果

炊き出しグランプリ イベント開催によるウォーター・フットプリント
水消費量 **4,875m³**

来場者想定:会場近圏から10,000人来場(車、電車、バス)

出店者想定:会場近圏から23団体出展



算定によるアピールポイント

お米を中心としたメニュー構成の低減、可能な限りの地産地消、により水の浪費を低減することに繋がることを認識した。とくに炊き出しメニューの考案にあたっては被災地のニーズを汲み取ることは勿論であるが、そこにフードマイレージの視点等を導入することが有効であると判断できる。